



第81期 中間決算のご報告

2015年4月1日～2015年9月30日



極東開発工業株式会社

証券コード：7226



トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

2015年4月1日から2015年9月30日までの当社第81期第2四半期の営業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期における我が国経済は、政府の経済政策による効果や、個人消費の持ち直しのほか、企業業績の改善などが見られたものの、一方で中国経済の影響などにより景気は足踏み状態となり、先行き不透明感を抱えながら推移しました。

このような状況下、当社グループは中期経営計画（3カ年計画）**【Next Step 2015】**～さらなる飛躍に向けて～（2013年4月1日～2016年3月31日）の総まとめとなる最終年度として、更なる企業価値の向上と、売上・利益の拡大を目指し、国内・海外とも積極的な諸施策を推進しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は前年同期と比較して、売上高は3,228百万円（7.0%）増加して49,488百万円となりました。損益面では、営業利益は497百万円（11.9%）増加して4,677百万円、経常利益は490百万円（11.8%）増加して4,635百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は460百万円（19.0%）増加して2,887百万円となりました。

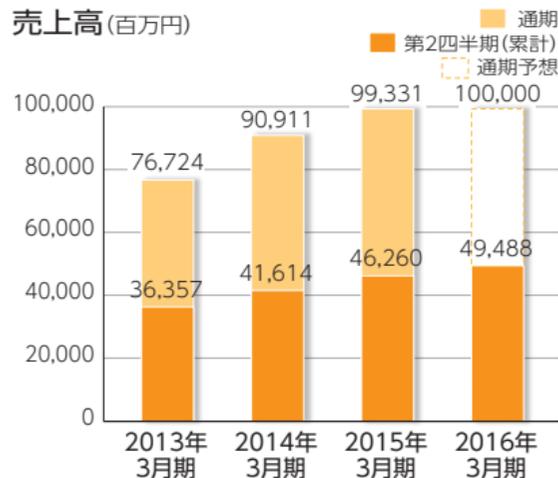
なお、中間配当金につきましては、1株当たり13円に創立60周年の記念配当金として1株当たり2円を加えて、前期実績の1株当たり12円から3円増配の15円といたします。

また、期末配当金につきましても同じく、1株当たり13円に記念配当金の2円を加えて、前期実績の1株当たり14円から1円増配の15円とする予定です。これにより、年間配当金は前期実績の1株当たり26円から4円増配の30円となる予定です。株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2015年12月 取締役社長 高橋和也

■ 業績ハイライト

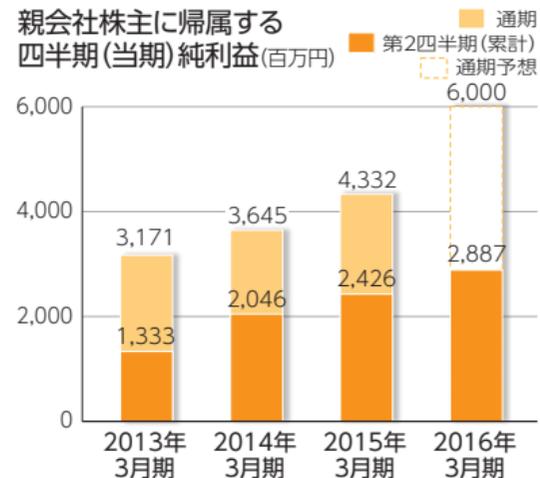
売上高 (百万円)



経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益 (百万円)



TOPICS 01

タイ工場が竣工

当社および当社子会社である日本トレクス株式会社が、タイ王国にて建設を進めておりました工場が竣工しました。

当工場は、日本トレクスとしては初の、また極東開発グループとしては中国・昆山工場、インド工場、インドネシア工場に次ぐ4番目の海外生産拠点となり、現地企業2社との合併会社として、日系企業の進出が進むタイ王国で、今後日本式物流形態の導入推進や、タイ王国政府主導による大規模なインフラ整備計画等により、大きな需要が見込まれるカーゴ系車両および建設関連の特装車両をターゲットとし、第一段階としてウイングバン、現地仕様となる10ドアバンおよびダンプトラックの生産と販売を行います。

なお既に引合も多数いただいております、タイ王国の物流に貢献すべく拡販を図ってまいります。



工場全景

主な
生産品目



10ドアバン



ウイングバン



ダンプトラックおよびフルトレーラダンプ



テープカットの様子

■ TOPICS 02

「第44回東京モーターショー2015」に出展

2015年10月29日(木)から11月8日(日)の期間、東京ビッグサイトで開催された「第44回東京モーターショー2015」の(社)日本自動車車体工業会ブースに出展いたしました。

本ショーのテーマである「きっと、あなたのココロが走り出す。」のコンセプトのもと、新しい技術を搭載した参考出品車両「フラトッ ZeroIIハイブリッド」を展示し、来場された多くのお客様から興味・関心を持っていただきました。

「フラトッ ZeroIIハイブリッド」の概要

日野デュトロハイブリッドをベースに架装し、ハイブリッドシャシの駆動用モータとバッテリーを利用することで、電動で積み降ろし作業が行える環境性能と作業性の両立を実現した1台積車輛運搬車です。電動作業時はエンジンを止めた状態で作業が行えるので、作業時の排気ガスゼロと低騒音化を実現しました。



■ 新製品ニュース 01

中型車の機動力に大型車並みの最大吐出能力を実現！

新型コンクリートポンプ車「ピストンクリート® PY90-17」を発売

GVW11トン車に17メートル級のブームを搭載し、大型車並みの最大吐出能力を実現したコンクリートポンプ車「ピストンクリート PY90-17」を発売いたしました。

新機種は、機動性の高い中型シャシであるGVW11トン車に、従来より好評をいただいている使いやすさを徹底的に追求した17メートル級ブームを搭載したピストン式コンクリートポンプ車で、今回新たに、トランスファPTO（※）の搭載で性能が向上した大容量油圧ポンプの採用と、メインシリンダのボア（径）アップにより、大型車並みの吐出能力となる最大吐出量90m³/h（従来機（PY75B-17）比約15%アップ）および最大吐出圧8.5MPa（同約73%アップ）の性能を実現しています。

（※）トランスファPTO：通常コンクリートポンプ車に使用されている、車両側トランスミッション横に取り付けられるサイドPTO（＝パワーテイクオフ：動力取り出し装置）と異なり、トランスファ（トランスミッションに接続され、エンジン出力をドライブシャフト（プロペラシャフト）を介して車軸に分配するための機構）に接続されたPTOで、よりエンジンのパワーをダイレクトに使用することが可能です。



トランスファPTO



■ 新製品ニュース 02

より力強く、よりスムーズに。機動力と使いやすさを極めた脱着ボデー車！

新型4トンスイング式脱着ボデー車 「ハイパースイング・フックロール[®]」を発売

新型4トンスイング式脱着ボデー車「ハイパースイング・フックロール」を発売いたしました。

新型車は、吊上げ能力を従来機比で13%アップ、作業スピードを同10%アップと基本性能を大幅に向上させたほか、傾斜センサと電磁比例弁を用いて、最適なエンジン回転数での作業が可能な極東独自のKOMT[®]（※）システムや、コンテナ積み降ろし時のショックを軽減するショックレス機構を採用し、スムーズな作業を実現しています。

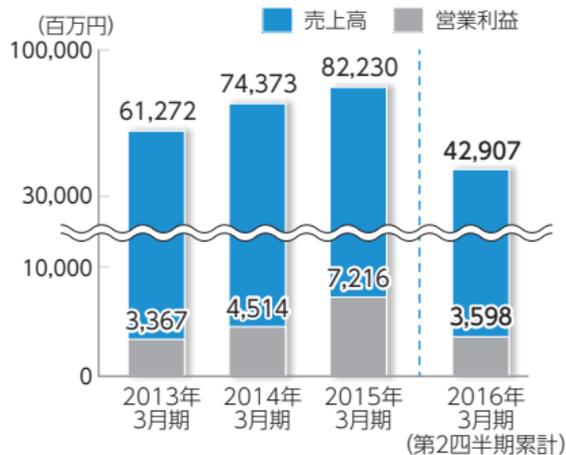
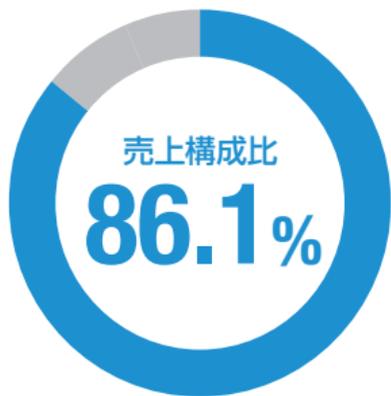
また、車両を移動させることなくフックを前方に約70mm、後方に約325mmチルトさせることができるフックチルトおよび、荷台の状態を確認しながらの操作が可能なワイヤレスリモコンなどの充実した装備も搭載し、現場での機動力を高めています。

（※）KOMT：Kyokuto Optimal Motion Technology



■ セグメント別概況

【 特装車事業 】



国内の特装車市場は、製品構成の変化が見られたものの堅調に推移しました。当社は継続して受注の確保に努めるとともに生産の合理化・効率化・研究開発にも注力し、7月には中型車の機動力に大型車並みの最大吐出能力を実現した新型コンクリートポンプ車「ピストンクリート® PY90-17」を発売するなど新製品も積極的に投入いたしました。



小型ダンプ (2t車)



4tプレスパック®

海外につきましては、タイ王国における当社と当社連結子会社の日本トレス株式会社および現地企業2社の合併による、バンボデーおよびダンプトラック等の生産・販売拠点となる新会社（Trex Thairung Co., Ltd.: プルワックデー郡）の工場稼働に向けた準備を進め、10月21日に竣工いたしました。今後は当社グループの業績に寄与すべく努めてまいります。

これらの結果、売上高は4,223百万円（10.9%）増加して42,907百万円となりました。営業利益は146百万円（4.2%）増加して3,598百万円となりました。

■ 国内普通トラック登録台数の推移



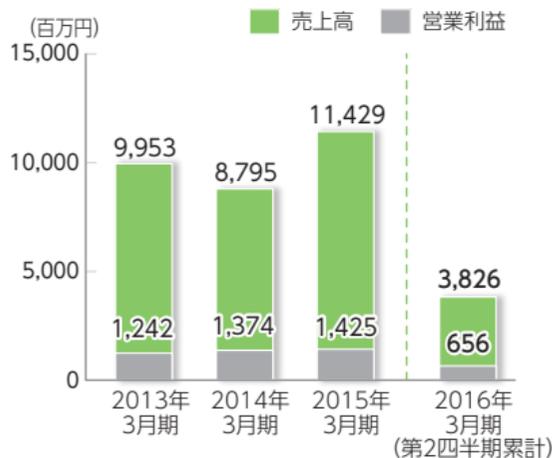
16kL石油タンクローリ



ウイングバン

■ セグメント別概況

[環境事業]



リサイクルプラザ (那覇市)



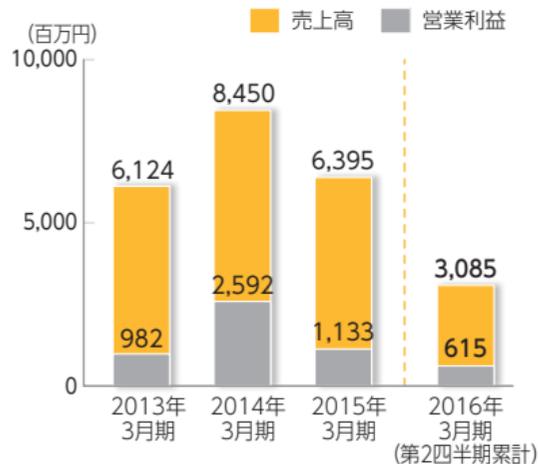
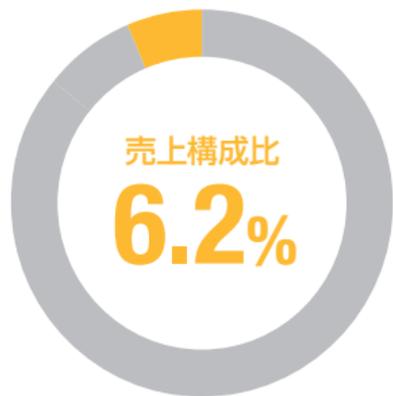
移動式破砕機

プラント建設につきましては新規物件の受注活動に努め、7月に館林衛生施設組合様よりリサイクルセンターの建設工事を受注したほか、メンテナンス・運転受託への継続的な注力および、受注済物件の建設工事に つきましても引き続き推進しました。

また、5月にコーンズ・アンド・カンパニー・リミテッドと技術提携を行ったバイオガスプラント事業では、技術の導入と今後の拡販に向けた準備を行いました。

しかしながらプラント部門の工事進行基準売上の減少により、売上高は975百万円 (20.3%) 減少して3,826百万円となりました。一方で、営業利益は319百万円 (94.8%) 増加して656百万円となりました。

〔不動産賃貸等事業〕



コインパーキング
(P.ZONE®)



立体駐車装置
(地下パーク3N)

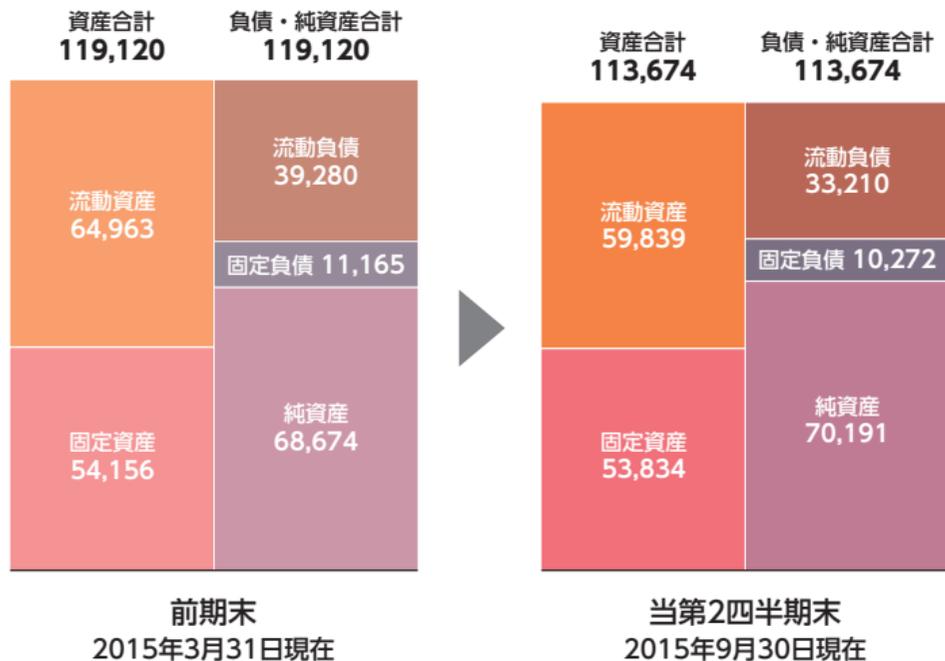
立体駐車装置は厳しい市場環境が継続したものの、引き続きリニューアルおよびメンテナンス事業に注力したほか、コインパーキングは採算性が高い事業地の選別とコストダウンの推進により利益率の向上に努めました。併せて、メガソーラー発電所が安定的に稼動したことにより利益を確保しました。

また、インドネシアに昨年設置した立体駐車装置のデモ機を活用し、当該国における立体駐車装置の拡販の可能性を検討するための市場調査も継続して行いました。

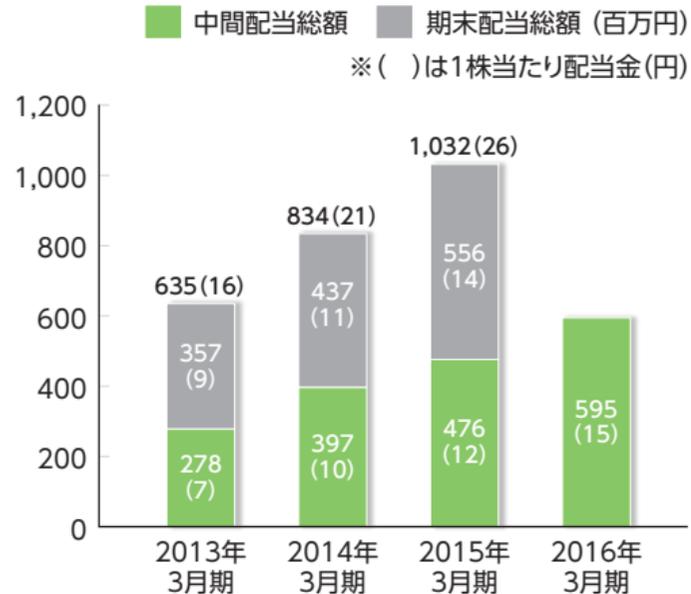
これらの結果、売上高は87百万円（2.8%）減少して3,085百万円となりました。一方で、営業利益は53百万円（9.6%）増加して615百万円となりました。

■ 連結財務データ (日本基準)

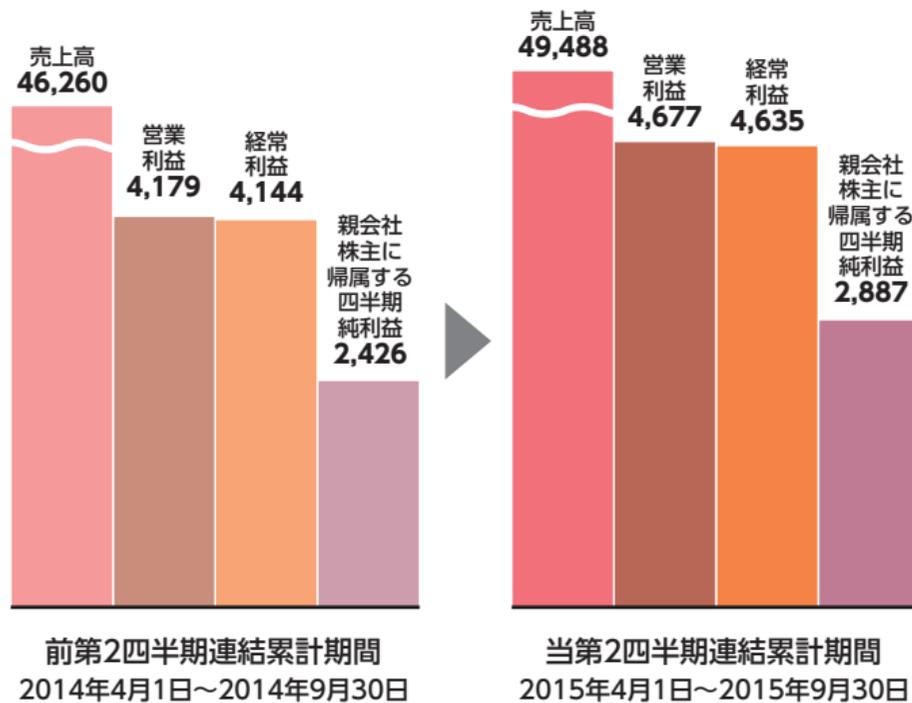
四半期連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



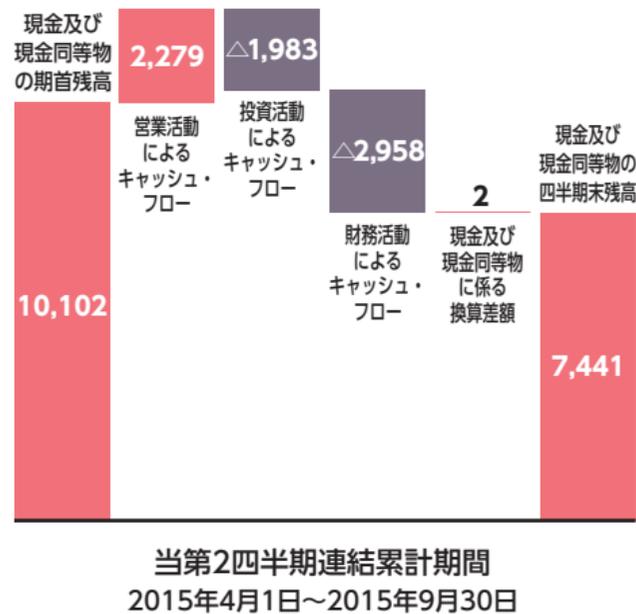
配当総額の推移



四半期連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



■ 企業データ (2015年9月30日現在)

[会社概要]

商号	極東開発工業株式会社 KYOKUTO KAIHATSU KOGYO CO., LTD.
設立	1955年6月1日
資本金	11,899,867,400円
従業員数	連結2,495名 単独985名

[役員]

代表取締役会長 最高経営責任者	筆谷高明
代表取締役社長 最高執行責任者	高橋和也
取締役 常務執行役員	杉本治己
取締役 常務執行役員	米田卓
取締役 常務執行役員	近藤治弘
取締役 常務執行役員	酒井郁也
取締役 常務執行役員	西川柳一郎

社外取締役	木戸洋二
社外取締役	道上明
常勤監査役	高島義典
監査役	植山友幾
社外監査役	楠守雄
社外監査役	乗鞍良彦
執行役員	則光健男
執行役員	堀本昇
執行役員	加藤定宣
執行役員	櫻井晃
執行役員	越智聡一郎
執行役員	布原達也
執行役員	栗山裕章
執行役員	細澤幸広

■ 株式データ (2015年9月30日現在)

[株式の状況]

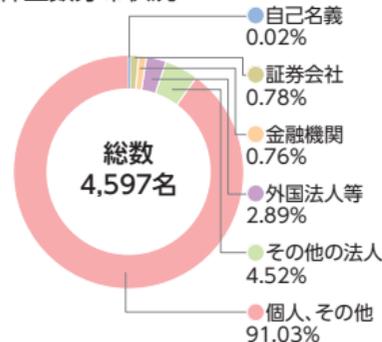
発行可能株式総数 170,950,672株
 発行済株式総数 42,737,668株
 株主数 4,597名
 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三井住友銀行	1,600	4.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社みなと銀行退職給付信託口)	1,498	3.77
RBC ISB A/C DUB NON RESIDENT - TREATY RATE	1,454	3.66
極東開発共栄会	1,198	3.02
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,012	2.55
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	957	2.41
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	901	2.27
宮原 幾男	843	2.12
日本マスタートラスト信託銀行株式会社トヨタ自動車口	837	2.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	809	2.04

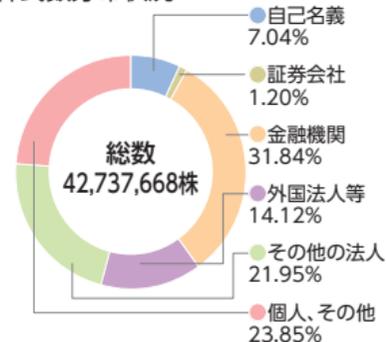
(注) 当社は自己株式を 3,008 千株 (7.04%) 保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

[株式分布状況]

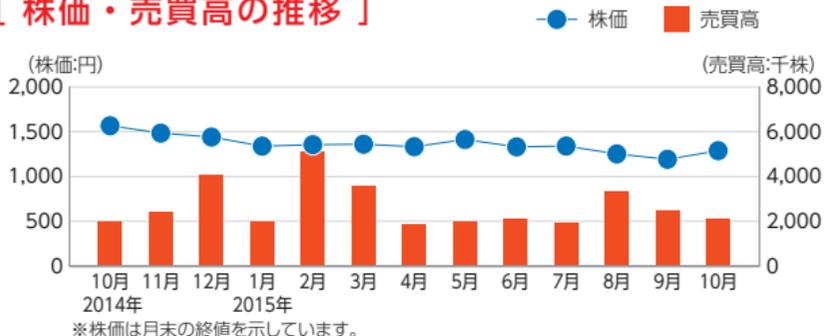
株主数分布状況



株式数分布状況



[株価・売買高の推移]



[株主メモ]

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末 3月31日 中間 9月30日
公告方法	電子公告 当社ホームページにて掲載 (http://www.kyokuto.com/)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場取引所	東京証券取引所市場第一部

Kyokuto Kaihatsu Kogyo Co., Ltd.

<ご注意>

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

この冊子に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号

極東開発工業株式会社 経営企画部

TEL:0798-66-1500

URL:<http://www.kyokuto.com/>

MAIL:kkkikaku@kyokuto.com

